



一般社団法人
日本看護研究学会

ニュースレター

第 11 号

2025年12月10日 発行

編集発行

日 本 看 護 研 究 学 会

(事務局)

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2丁目39-2-401

株式会社ガリレオ 学会業務情報化センター内

一般社団法人日本看護研究学会 事務局

TEL : 03-3982-2030 (直通)

FAX : 03-5981-9852

主な記事

理事長より / 第51回学術集会開催報告 / 第52回学術集会開催案内 /
50周年記念事業報告 / 地方会からのお知らせ / 委員会活動報告 /
入会資格要件変更についてのお知らせ / お知らせ / 編集後記

理事長より

一般社団法人 日本看護研究学会
理事長 叶 谷 由 佳



会員の皆様には平素より本学会の運営にご協力いただき感謝申し上げます。

法橋尚宏学術集会長のもと、第51回学術集会を8月30・31日に石川県金沢市で盛況に終えることができ、新たな歴史の1歩を踏み出したと身が引き締まる思いです。

昨年度より学会運営の見直しを行い、学会入会要件を評議員の推薦のみから業績も考慮することとし、新たな要件での入会者も増えてきています。また、今まで将来構想委員会の下部組織と位置づけられていた看保連ワーキングを看護の質向上委員会とし、診療報酬や介護報酬要望だけではなく、看護の質向上に関わる事業を広く行うことを可能といたしました。さらに、定款上、任期途中で役員が欠員となった場合に補充が

できず、現在も欠員のまま運営しておりますが、定款変更を行い、役員の補充をすることを可能としました。

また、英文誌の *Journal of International Nursing Research* が4巻まで発刊され、順調に投稿数が増えています。しかし、PMC (PubMed Central)、ESCI (Emerging Sources Citation Index) に申請するには、多様性が重視され、海外からの投稿数を増やすことが課題となっています。そこで、海外からの投稿を増やすべく、一定期間、海外からの投稿者対象に Article processing charge 無料キャンペーンを実施いたします。ぜひ海外の知人の研究者に投稿をお勧めいただければ幸いです。

2025年11月

第51回学術集会開催報告

第51回学術集会を終えて

第51回学術集会会長 法 橋 尚 宏
(神戸大学大学院保健学研究科家族看護学分野 教授)



日本看護研究学会第51回学術集会は、2025年8月30日(土曜日)と31日(日曜日)の2日間、石川県金沢市の石川県立音楽堂にて開催いたしました。令和6年能登半島地震からの復旧・復興支援の輪をさらに広げるために、奥能登に近い金沢市において対面形式で実施することを決定いたしました。

また、会期後の2025年9月30日(火曜日)から10月31日(金曜日)にかけて、主要なセッションのオンデマンド配信を実施し、多くの方々にご視聴いただきました。最終的に、約1,100名の皆様にご参加いただき、活発な討議と交流が繰り広げられました。ご参加くださった皆様、ならびにご支援を賜りましたすべての関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

本学術集会のメインテーマは、“プラネタリーヘルス時代における看護学研究のグレートリセット”とし、

この理念のもとに多彩なプログラムを企画いたしました。会長講演、特別講演、教育講演、シンポジウム、委員会企画、ランチョンセミナー、市民公開イベントを開催し、演題発表でも熱意に満ちた発表と建設的な意見交換が行われました。また、優れた研究成果として、口演発表2題および示説発表2題に最優秀演題賞を授与いたしました。これらの詳細は、『日本看護研究学会雑誌』第48巻第3号に掲載予定ですので、ぜひご一読ください。

最後に、本学術集会が新たな知の創出と看護学研究のさらなる発展に寄与する契機となりましたことを願うとともに、日本看護研究学会の一層の発展と、会員の皆様のご健勝ならびにご活躍を心よりお祈り申し上げます。

第52回学術集会開催案内

第52回学術集会開催案内

第52回学術集会会長 岡 美智代
(群馬大学大学院保健学研究科 教授)



1. テーマ：語り合おう、看護の近未来
2. 会 期：2026年9月5日(土)・6日(日)
オンデマンド配信2026年9月14日(月)～10月12日(月) 予定
3. 会 場：Gメッセ群馬
〒370-0044 群馬県高崎市岩押町12-24 (東京駅から約1時間)
4. 演題募集期間：2026年2月23日(月)～3月23日(月) 予定

会員の皆様、日本看護研究学会 第52回学術集会会長を拝命いたしました、岡美智代と申します。今回の学会は、上記のとおり開催する予定です。

第52回の特長としては、「実践・研究スタートアップ報告」というセッションを設けました。これは、臨床看護師や大学院生などの研究初心者の方を対象にしたセッションです。学会発表に少し不安を感じる方に

も、お気軽にご発表いただきたいと思います。

会場であるGメッセ群馬は、東京駅から新幹線と徒歩で1時間程度と、都心から大変アクセスの良い場所でございます。本学術集会が実り多き場となりますよう、皆さまのご支援とご参加を心よりお願い申し上げます。

50周年記念事業報告

50周年記念事業ワーキンググループ委員長 安 藤 詳 子

今年度6月15日、50周年記念誌発刊に至り、HP上、学会誌2025年度48巻「50周年記念号」をお知らせしました。表紙では、爽やかな風が吹く青空のもとに美しい花のリース（50周年記念ロゴマーク）が微笑んでいるかのように彩を添えています。ご寄稿くださいました皆さまの詳らかな文脈によりまして、重みのある歴史を紐解き、過去から現在、未来へとつなげていく記念誌となりました。最後の頁は緑に優しく包まれた木が凛とした姿で立っています。第50回学術集会での企画と並び、50周年記念の重大イベントである記念誌の発刊をもちまして、50周年記念事業を終了しました。ご協力くださいました全ての皆さまに感謝申し上げます。

地方会からのお知らせ**■東海地方会****【第30回東海地方会学術集会のご案内】**

テーマ：現場からのストレングスしこう～志向・思考・試行～

大会長：片岡三佳（三重大学）

会 期：2026年3月14日（土）

会 場：三重大学医学部看護学科

一般演題募集期間：2025年10月20日（月）～2026年1月7日（水）

参加申し込み期間：2025年10月20日（月）～2026年2月6日（金）

HP：<https://www.jsnr.or.jp/district/tokai/meeting/gakujutu30info.html>**■近畿・北陸地方会****【第39回近畿・北陸地方会学術集会のご案内】**

テーマ：研究と実践に感謝－更なる発展を求めて

会 期：2026年3月7日（土）

会 場：和歌山県立医科大学保健看護学部

詳細は、近畿・北陸地方会ウェブサイト（<https://www.jsnr.or.jp/district/kinki-hokuriku/meeting/>）にてご確認ください。**■中国・四国地方会****【第38回中国・四国地方会学術集会のご案内】**

テーマ：地域社会の未来につなぐ看護研究

会 期：2026年3月15日（日）

会 場：新見公立大学 地域共生推進センター棟 講堂

事前参加登録期間：2026年2月6日（金）まで

詳細は、中国・四国地方会ウェブサイト（<http://nr-38chugokushikoku.kenkyuukai.jp/>）にてご確認ください。

委員会活動報告

看護の質向上委員会

このたび、日本看護研究学会に「看護の質向上委員会」が新たに設立されました。本委員会は、これまで「看保連ワーキンググループ」として活動してきたエビデンスに基づく質の高い看護の確保に向けた看護技術・診療報酬・介護報酬体系のあり方に関する提言に加え、政策提言、臨床への還元をめざした啓発・普及に関する活動を担ってまいります。会員の皆様と共に「看護の質」を向上させていく場として、今後の活動にご期待ください。

委員長

金田 明子（東京医療学院大学）

委員

赤瀬 智子（横浜市立大学） 岡田 摩理（日本赤十字豊田看護大学）

大西 みさ（旭ろうさい病院）

田中明日美（あい返子クリニック）

三浦 武（横浜市立大学）

オブザーバー

岡山 久代（筑波大学）

河野 敬（東京医療学院大学）

玉井 奈緒（横浜市立大学）

南崎 真綾（横浜市立大学）

入会資格要件変更についてのお知らせ

総務担当 鈴木 みずえ 北 素子

入会資格要件の変更について2025年度社員総会にて変更が承認されました。従来は、「評議員の推薦を得た者」のみでしたが、評議員の推薦が得られない場合でも、「看護学に貢献する研究業績が1つ以上ある者」であれば、入会資格が認められるようになりました。研究業績とは「全国規模の学会での発表」などです。これを機会に関係者の皆様のご入会をお勧めいただきますようお願いいたします。詳しくはホームページをご覧ください。
<https://www.jsnr.or.jp/outline/admission/>

お知らせ

一般社団法人日本看護研究学会では、看護学の発展と優秀な研究者の育成を目的に、正会員・学生会員を対象として研究費を助成しております。研究助成は毎年実施しており、今年度の「研究助成（学生会員）」は2026年1月13日（火）～3月6日（金）に募集予定です。皆さまの積極的なご応募をお待ちしております。

研究助成委員会委員長 作田 裕美

国際活動推進委員会は、会員の国際的な活動を支援することを目的としています。日本看護研究学会第51回学術集会では、研究成果を海外に発表する際の投稿雑誌の選定をテーマに、委員による講演および参加者との意見交換を行いました。今後も会員の皆様の国際活動をさらに推進できるように取り組んで参ります。

国際活動推進委員会委員長 岡 美智代

— 編集後記 —

今年からニュースレターの発行が年1回になりました。これからも各委員会・地方会の前向きな取り組みや情報を多くの皆様にご紹介できるようにしたいと思います。

(広報委員会)